

事例19 高齢受給者(70歳以上)入院外(低所得 I) (マル長)
(S19.4.1までに生まれた方)

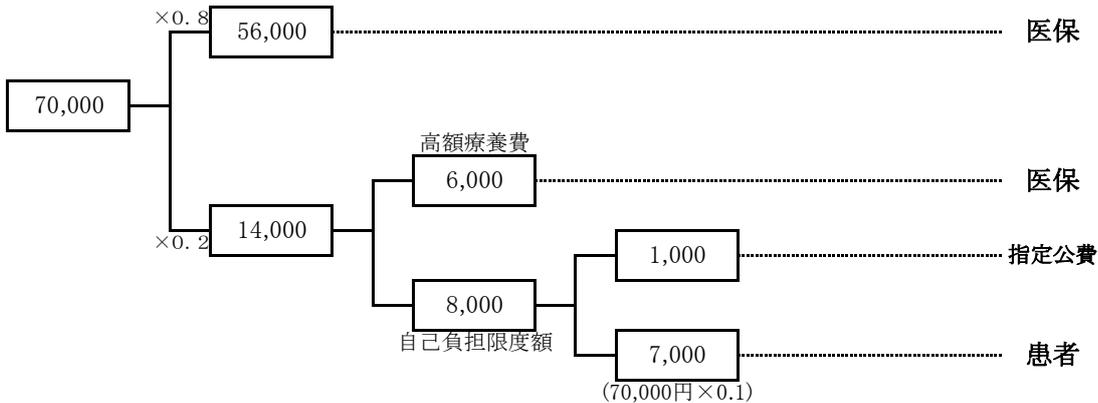
国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	2 2 併	8 高齢一																																		
<table border="1"> <tr><td>公費負担者番号①</td><td>8</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>公費負担医療の受給者番号①</td></tr> <tr><td>公費負担者番号②</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>公費負担医療の受給者番号②</td></tr> </table>										公費負担者番号①	8	0								公費負担医療の受給者番号①	公費負担者番号②										公費負担医療の受給者番号②	保険者番号															
公費負担者番号①	8	0								公費負担医療の受給者番号①																																					
公費負担者番号②										公費負担医療の受給者番号②																																					
<table border="1"> <tr><td>氏名</td><td colspan="9"></td><td>特記</td></tr> <tr><td>職務上の事由</td><td colspan="9"></td><td>02 長</td></tr> </table>										氏名										特記	職務上の事由										02 長	<table border="1"> <tr><td>実日数</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>公費①</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>公費②</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				実日数				公費①				公費②			
氏名										特記																																					
職務上の事由										02 長																																					
実日数																																															
公費①																																															
公費②																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>請求 円</th> <th>※ 決 定 円</th> <th>負担金額 円</th> <th>※高額療養費 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70,000</td> <td></td> <td>7,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70,000</td> <td></td> <td>1,000</td> <td>※公費負担金額 円 備考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低所得 I</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※公費負担金額 円</td> </tr> </tbody> </table>										請求 円	※ 決 定 円	負担金額 円	※高額療養費 円	70,000		7,000		70,000		1,000	※公費負担金額 円 備考				低所得 I				※公費負担金額 円	←低所得で高額療養費が現物給付された場合に記載																	
請求 円	※ 決 定 円	負担金額 円	※高額療養費 円																																												
70,000		7,000																																													
70,000		1,000	※公費負担金額 円 備考																																												
			低所得 I																																												
			※公費負担金額 円																																												

※ マル長で低所得の場合(単独) →高額療養費が発生しているので、「保険」の「負担金額」欄に支払を受けた一部負担金額(本来患者が負担すべき高齢受給者としての1割負担)を記載
 [療養の給付]

→国保における単県医療費併用の場合は、限度額適用認定証の所得区分の限度額が適用される

→この事例では02長も同時に提示されているが、その限度額=10,000円よりも低所得区分の8,000円の方が低額なので8,000円が現物高額限度額となり、さらに指定公費の適用により患者の窓口負担は1割(7,000円)となる



〈保険〉70歳以上 国保 定率2割

〈高齢受給者証〉 定率2割(75歳到達まで特例措置1割)

〈限度額適用・標準負担額減額認定証〉低所得者 I (自己負担限度額8,000円)

〈高額療養費〉特定疾病受療証(マル長)高額限度額 10,000円

〈公費①〉単県80 定率1割 低所得 I (一部負担上限額 1,000円)

合計	
医保	62,000 円
(高額再掲	6,000 円)
指定公費	1,000 円
患者	7,000 円
単県80	6,000 円
患者(最終)	1,000 円

高額療養費
(70,000円×0.2) - 8,000円=6,000円



→単県80が患者負担を6,000円カバーし、患者の最終負担額は1,000円となる